

阿寒町公民館

開催日時	平成 29 年 10 月 26 日(木) 18:30～19:32
会 場	視聴覚室
参加人数	13 人
出席議員	<p>渡辺慶藏 議長</p> <p>三木 均 議員（議会運営委員会委員、都心部市街地整備特別委員会委員、水道事業審査特別委員会副委員長）</p> <p>松尾和仁 議員（総務文教常任委員会委員）</p> <p>佐藤勝秋 議員（経済建設常任委員会委員、石炭対策・関連エネルギー調査特別委員会委員）</p> <p>鶴間秀典 議員（民生福祉常任委員会委員）</p> <p>河合初恵 議員（議会広報特別委員会副委員長：司会）</p>

意見	<p>質疑・一般質問の報告の中で町内会の加入率が低下しているという内容があったが、阿寒地区ではほぼ 100%が加入している。阿寒地区の場合は広報紙の配布を各町内会に委託しているため、小さな町内会であっても収入が入り活動資金となる。釧路地区の場合は、5 月から 11 月まで各町内会で環境美化活動をやると地区連合町内会に対して収入が入る。各町内会の事業に応じて補助金が交付される制度を実施している市があるはずなので、そういうものを調べて提案していけば、各町内会の励みになるのではないかと。</p> <p>今年も 3 つか 4 つの町内会が連合町内会に対して解散の申し出をしており、どのように歯どめをかけたらいいかは、市としても頭が痛い問題だと思う。議員としても、議員の任期を終えた後も町内会活動に力を入れ続けていけるような仕組みをつくっていかなくてはならないのではないかと。</p>
鶴間議員	<p>阿寒地区では広報くしろの配布を町内会にお願いしているが、そういった連携を釧路地区に当てはめるのはなかなか難しいというのが実情である。町内会事業に対する補助については、老人クラブには過疎債のソフト事業に対しての補助があり、そういった財源的な部分を含めてどのようにできるのかということはあるが、よいご意見をいただいたので、議会のメンバーに報告させていただきたい。</p>

意見	<p>釧路市の場合、連合町内会に加入していなければ組織としてカウントをしていないが、市営住宅や集合住宅でも自治会をつくっており、これらが加入すると加入率は 50%を超える。自治会も町内会も一緒であると思うし、連合町内会に入るか入らないかは自由だと思う。</p> <p>災害の関係では、去年釧路市で開催された道東都市町内会長大会で、新栄町の町内会長から、町内に高い建物はないし、高齢化してきているので、津波が来たら逃げようがないという話があったが、このように訓練をしようとしてもできない町内会もある。国交省からの指示で今年から 3メートル以上の津波を想定した避難訓練にやり方を変えているが、町内会が高齢化して先に立つ人がなかなか動けなくなってきた中で、避難訓練の仕方もどのようにリードしていったらよいか議会で検討してほしい。</p>
松尾議員	<p>町内会における避難訓練は悩みが多いが、入舟のあたりの町内会や、大楽毛地区の方々が一生懸命やっている事例を新聞等で見ているし、委員会でも報告を受けている。町内会の隣近所における助け合いの基盤づくりを日ごろからしっかりやっていかななくてはならないのはもちろんだが、ハードとしての建物の避難場所のあり方や、避難訓練のあり方を、委員会でも改めてしっかり議論していきたい。</p>
河合議員	<p>災害の問題に関しては、まずは自助、共助、公助である。津波が来た際には、まずは高い建物に逃げるのが一番ということは私自身も感じているが、市としては公共の建物には避難してくださいと言えるが、民間の建物には言えないところもある。</p> <p>町内会の話については、確かに道営住宅や市営住宅の自治会は算入されていないが、それらが加入すれば加入率は 50%以上になるので、今の話をしっかり議員間で共有しながら、どのようにして加入率を向上できるか、しっかり検討していきたいと思う。</p>

意見	<p>阿寒湖畔から弟子屈町に向かう途中に双湖台という場所があり、そこからペンケトーとパンケトーという 2つの湖が見えるのだが、最近、木が成長してきたせいで見晴らしが悪くなってきている。また、高い場所から写真を撮るために皆さんが上るせいで木の柵が壊れていたり、路面にも高齢の方が歩きづらいような陥没がある。観光立国ショーケースなどで多くの観光客に来てもらおうとしている中で、優先度は低いかもしれないがそういった場所にも予算をつけてほしい。</p>
----	--

佐藤議員	経済建設常任委員会の中で同じような質問と問題提起があり、担当部署には伝わっているが、国立公園の一部であるため勝手に木を切ることができない。一方で、釧路市としては観光名所であるので、訪れた方々が、柵を含めて老朽化し、路面も傷んでいる実態を目にすることは甚だ印象が悪い。環境省など所管の問題も絡んでくるが、危険な部分を取り除くということは大前提であるし、美観を損なう部分については応急処置も含めてしっかりと対応すべきだと思うので、早急な対応がなされるよう申し伝えたい。
鶴間議員	木が伸びたりといった環境の部分については観光客にとって非常に目につくところである。現地は特別保護地区なので木を切ることが難しいが、双岳台の木を切った実績もあるので、地元として一緒にしっかりとお願いをしていきたいし、議会としても要請していきたい。

意見	水道の料金改定が実に 18 年ぶりということは異常である。微増していくのが一番よいやり方であって、このように一気に 20% 近く上げるやり方は感心できない。改定には理解を示しながらも急激な変化を心配するということが必要だと思う。
三木議員	おっしゃるとおり水道料金は平成 12 年から 18 年間上げていない。長年の蓄積で一挙に 19.5% の改定というのは確かに大きな数字であるが、上げてこなかったことについては 2 つの見解があり、1 つは 18 年間よく抑えることができたという考え方、もう 1 つはなぜ今まで放っておいたのかという考え方である。そういったことは議会としてしっかりと監視すべきであり、議員の責任というのも確かにあるとは思いますが、少しでも市民負担を軽減する方向で一生懸命議論している。今回は 19.5% の値上げとなったが、本当は 31.3% 値上げするはずであった。これではあまりにも市民生活への影響が大きいことから、一般財源から 13 億 7,200 万円補填することによって 11.8% 圧縮し 19.5% になったということで、できるだけ市民に影響がないよう配慮したということである。

質問	大型ホテルは大量に水を使うため、料金改定は経営を相当圧迫すると思う。釧路地区にも大きなホテルがあるが、料金は一律なのか。
三木議員	19.5% の料金改定というのはあくまで平均であり、一般家庭を中心に

	<p>した数値であるので、企業等の使用料については管の太さなどで変わってくる。</p>
<p>佐藤議員</p>	<p>水道料金を 18 年間何も努力せずに放っておいたわけではない。釧路市では水産業がホテルの比ではないくらいに水を使っており、水道料金を上げるということは家庭だけではなく経済に与える影響も甚大である。釧路市の水道事業会計は健全経営を続けてきたおかげで基金の蓄えがあり、18 年間にわたり市民生活や経済活動に影響を与えないよう内部努力を重ねてきたというのが現実である。</p> <p>今回、一般会計から 10 数億円補填したのは、市民の水道料金の負担を抑えるという理由もあるが、一方で、今後 50 年、100 年後まで安心安全な水道をつくっていくために長年の課題であった愛国浄水場の更新という英断をされており、そのことに対し一般会計としても負担したため、水道料金の値上げを低く抑えることができたということもご理解いただきたい。</p> <p>長年蓄積された水道技術があり、日本全国どこに出しても一番と言えるくらいの品質を保っているのが釧路の水道水であり、それを今後も市民の皆さんにできるだけ安い値段で提供していくためにも、今回の値上げの措置はやむを得ないものと議会としては判断している。</p>